



毎月1回1日発行  
 発行 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3-11  
 (パインランド日本橋ビル5F)

電話 03(6661)9730 FAX 03(6661)9733

発行責任者 水落雅彦 印刷所 (株)白橋



8月19日からの大雨による広島県の被害状況 (広島市安佐南区：写真提供 国土地理院)

目 次

台風第12号及び第11号による被害状況等について……………内閣府… 2

8月15日からの大雨による被害状況等について……………内閣府… 6

8月19日からの大雨による広島県の被害状況等について  
 ……………内閣府非常災害対策本部… 8

平成26年(2014年)8月豪雨による被害状況に関する情報……………国土地理院… 9

平成26年度「防災週間」の実施について……………内閣府… 12

各県コーナー 「千葉県」……………千葉県県土整備部河川環境課防災対策室…15

会員だより 「和歌山県の災害復旧について」  
 ……和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課 大森 健作…20

協会だより……………24

# 台風第12号及び第11号による被害状況等について

(7月30日～8月11日までの大雨等による災害)

内閣府 HP より

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。【8月19日時点】

## 1. 気象状況（気象庁）

### (1) 気象の概況等

#### 【台風第12号や前線等関連】

- 7月30日3時にフィリピンの東の海上で発生した台風第12号は、31日から8月1日にかけて沖縄本島地方に最も接近したのち、暴風域を伴いながら東シナ海を北上し、4日3時に黄海で熱帯低気圧に変わった。
- 7月30日頃から、北日本や西日本で雨の日が多くなっており、特に四国地方では、降り始めからの雨量が1,000ミリを超える等、8月の月降水量（平年値）の2～4倍となっている所がある。
- 前線や南からの暖かく湿った空気の影響で、5日夜から中国地方や東北地方で大雨となり、特に山口県では、局地的に1時間に100ミリを超える猛烈な雨の降った所がある。

#### 【台風第11号や前線等関連】

- 7月29日12時にマリアナ諸島付近で発生した台風第11号は、強い勢力で日本の南海上を北上し、暴風域を伴って8月7日に大東島地方に接近した。台風は強い勢力を維持したまま比較的ゆっくりとした速度で北上し、10日6時過ぎに高知県安芸市付近に上陸した後、次第に速度を速めながら四国地方、近畿地方を通過した。その後、台風は暴風域を伴ったまま日本海を北上し、11日9時に温帯低気圧に変わった。
- この期間、前線が西日本の日本海側から北日本にかけて停滞し、前線に向かって台風周辺の湿った空気が流れ込んだ。
- このため、西日本から北日本の広い範囲で大雨となった。特に、高知県では7日から11日までの総降水量が多いところで1,000ミリを超えるなど、四国地方から東海地方にかけて総降水量が600ミリを超える大雨となった。また、大気の状態が非

常に不安定となり、栃木県等で、竜巻などの激しい突風が吹いた。

- 栃木県鹿沼市、壬生町、栃木市において、10日11時30分頃から50分頃、竜巻が発生し、強さは藤田スケールでF1（風速が毎秒33～49メートル）と推定した。

### (2) 大雨等の観測状況

#### （台風第12号や前線等関連）

7月30日0時～8月6日24時

#### ・1時間降水量

徳島県海陽	87.0ミリ	2日	16時25分まで
徳島県蒲生田	86.0ミリ	2日	14時24分まで
高知県繁藤	81.0ミリ	2日	20時12分まで
高知県本山	78.0ミリ	3日	9時09分まで
宮崎県えびの	77.0ミリ	31日	15時51分まで
徳島県木頭	76.5ミリ	1日	21時05分まで
高知県高知	74.0ミリ	3日	7時20分まで
徳島県日和佐	73.0ミリ	2日	12時41分まで
山口県岩国	71.0ミリ	6日	5時51分まで
高知県佐川	69.0ミリ	3日	4時54分まで
大分県犬飼	69.0ミリ	2日	19時55分まで
宮崎県北方	69.0ミリ	2日	18時13分まで

#### ・24時間降水量

高知県佐川	606.5ミリ	3日	11時40分まで
高知県繁藤	568.0ミリ	3日	7時30分まで
高知県鳥形山	566.5ミリ	3日	3時40分まで
高知県本山	563.0ミリ	4日	4時00分まで
高知県船戸	522.0ミリ	3日	4時00分まで
高知県本川	491.5ミリ	3日	4時40分まで
徳島県蒲生田	491.0ミリ	2日	23時20分まで
徳島県福原旭	462.0ミリ	2日	20時00分まで
徳島県海陽	446.5ミリ	3日	11時20分まで
高知県高知	426.5ミリ	4日	6時20分まで

## ・期間降水量

高知県繁藤	1,383.0ミリ
高知県本山	1,204.0ミリ
高知県鳥形山	1,146.5ミリ
高知県船戸	917.5ミリ
高知県大柝	897.0ミリ
高知県佐川	895.5ミリ
高知県高知	879.0ミリ
高知県本川	852.0ミリ
高知県池川	798.0ミリ
高知県後免	774.5ミリ

## ・最大風速

鹿児島県笠利	29.7m/s(南)	1日	8時49分
鹿児島県沖永良部	28.0m/s(南南西)	1日	12時30分
鹿児島県天城	26.7m/s(南)	1日	12時32分
沖縄県宮城島	24.3m/s(南西)	1日	10時48分
沖縄県那覇	22.9m/s(南西)	1日	11時14分
沖縄県安次嶺	22.9m/s(南西)	1日	11時09分
沖縄県名護	22.8m/s(南)	1日	11時21分
沖縄県北原	21.0m/s(南西)	1日	11時51分
沖縄県慶良間	20.7m/s(南西)	1日	11時59分
沖縄県南大東	20.2m/s(南南東)	31日	23時49分

## ・最大瞬間風速

鹿児島県笠利	38.1m/s(南)	1日	9時13分
鹿児島県沖永良部	37.6m/s(南南西)	1日	12時08分
沖縄県宮城島	35.2m/s(南南西)	1日	10時44分
沖縄県那覇	34.2m/s(南西)	1日	10時58分
鹿児島県天城	34.0m/s(南)	1日	12時36分
沖縄県名護	32.8m/s(南南西)	1日	11時34分
沖縄県奥	31.9m/s(南南西)	1日	11時47分
沖縄県南大東	31.0m/s(南)	31日	23時45分
鹿児島県名瀬	29.9m/s(南東)	1日	5時01分
沖縄県安次嶺	29.8m/s(南西)	1日	10時47分

(台風第11号や前線等関連)

8月7日0時～8月11日24時)

## ・1時間降水量

三重県尾鷲	85.0ミリ	9日	12時16分まで
高知県魚梁瀬	80.5ミリ	10日	0時43分まで
三重県宮川	76.0ミリ	9日	13時07分まで
高知県須崎	75.0ミリ	10日	3時42分まで

三重県藤坂峠	72.5ミリ	9日	15時18分まで
千葉県東庄	71.5ミリ	10日	3時21分まで
石川県羽咋	70.5ミリ	8日	4時49分まで
宮崎県深瀬	70.5ミリ	9日	3時42分まで
岐阜県樽見	69.0ミリ	10日	15時10分まで
和歌山県色川	68.0ミリ	9日	5時18分まで

## ・24時間降水量

高知県魚梁瀬	862.0ミリ	10日	8時50分まで
高知県船戸	674.0ミリ	10日	4時40分まで
高知県鳥形山	593.5ミリ	10日	4時50分まで
徳島県福原旭	569.5ミリ	10日	8時40分まで
徳島県木頭	551.5ミリ	10日	8時50分まで
高知県窪川	526.0ミリ	10日	4時10分まで
三重県宮川	474.0ミリ	10日	11時00分まで
高知県大正	451.5ミリ	10日	4時00分まで
三重県白山	449.5ミリ	10日	4時00分まで
高知県梶原	430.0ミリ	10日	4時30分まで

## ・期間降水量

高知県魚梁瀬	1,081.0ミリ
高知県船戸	918.5ミリ
高知県鳥形山	905.0ミリ
徳島県福原旭	817.0ミリ
徳島県木頭	731.5ミリ
高知県窪川	680.5ミリ
三重県宮川	662.5ミリ
和歌山県本宮	651.5ミリ
高知県大正	600.0ミリ
高知県佐川	558.0ミリ

## ・最大風速

高知県室戸岬	42.1m/s(南西)	10日	6時36分
和歌山県友ヶ島	36.6m/s(南)	10日	10時18分
沖縄県北大東*	32.3m/s(北北東)	7日	15時03分
沖縄県旧東	31.6m/s(北)	7日	15時10分
兵庫県神戸空港	30.8m/s(南)	10日	11時20分
沖縄県南大東	29.2m/s(北西)	7日	19時01分
鹿児島県屋久島	26.6m/s(北)	9日	5時15分
兵庫県明石	26.0m/s(南南西)	10日	11時10分
和歌山県和歌山	26.0m/s(南)	10日	10時11分
大阪府関空島	25.6m/s(南)	10日	10時55分

## ・最大瞬間風速

高知県室戸岬	52.5m/s(南東)	10日	4時35分
沖縄県北大東*	47.3m/s(北北東)	7日	14時50分
沖縄県旧東	47.3m/s(北)	7日	15時10分
和歌山県友ヶ島	44.8m/s(南南東)	10日	9時21分
沖縄県南大東	44.5m/s(北)	7日	15時53分
徳島県蒲生田	44.0m/s(東南東)	10日	7時40分
兵庫県神戸空港	40.6m/s(南)	10日	11時11分
和歌山県和歌山	40.2m/s(南南西)	10日	10時03分
徳島県海陽	39.2m/s(南南東)	10日	7時02分
高知県清水	38.2m/s(東北東)	9日	21時41分

※集計期間内に欠測している時間帯がある観測所。

## (3) 波浪の観測状況

(台風第11号や前線等関連

8月7日0時～8月11日24時)

## ・波浪最高値

## 【国土交通省港湾局所管】

高知県高知港	8.8m	10日	1時20分
和歌山県潮岬	8.2m	10日	7時20分
高知県室津港	7.6m	10日	2時40分
高知県上川口港	7.2m	9日	22時00分
鹿児島県志布志港	6.1m	8日	18時00分
GPS 波浪計高知西部沖	11.3m	9日	19時40分
GPS 波浪計和歌山南西沖	8.4m	10日	7時20分
GPS 波浪計宮崎日向沖	7.8m	9日	13時40分
GPS 波浪計三重尾鷲沖	7.8m	10日	10時40分
GPS 波浪計伊勢湾口沖	6.5m	10日	13時20分

## (4) 潮位の観測状況

(台風第11号や前線等関連

8月7日0時～8月11日24時)

・最高潮位 (波浪の影響による短周期変動を除去した値)

## 【気象庁所管】

高知県高知 標高2.2m 10日 4時40分

## 2. 人的・物的被害の状況&lt;8月1日以降&gt; (消防庁調べ：8月19日17：00現在)

都道府県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者 人	行方 不明者 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	合計 棟	公共 建物 棟	その他 棟
			重傷 人	軽傷 人								
北海道							4	17	71	92		
青森県				1				28	117	145		
岩手県							1			1		
秋田県							1	1	13	15		
茨城県				1					4	4		
栃木県				2		1	234			235	1	375
群馬県							1			1		
千葉県									4	4		
神奈川県				1								
新潟県							4	1	49	54		
石川県									5	5		
福井県				1								
岐阜県				4			6			6		
愛知県	1		2	9			13	3	1	17		1
三重県			2	5		2	34	40	257	333		2
滋賀県				3					1	1		
京都府				2			18	21	83	122		
大阪府			1	4			10		4	14		
兵庫県				9	1	1	95	32	336	465		
奈良県							1	2	69	72		
和歌山県	1		2	2			5	9	293	307	1	8
鳥取県									2	2		
島根県	1								2	2		
岡山県							1		62	63		
広島県			2	1			6	3	22	31		
山口県	2		2	3	3	3	15	129	364	514	3	1
徳島県	1			1	2		62	718	1,843	2,625		5
香川県				5	1	1	1	1	12	16		3
愛媛県				2			4		1	5		
高知県			1	6	3	1	138	556	776	1,474	17	131
熊本県									1	1		
大分県				3								
宮崎県			1	6		1	8	1	9	19	1	4
鹿児島県			1	3			15		1	16		1
沖縄県							3			3		
合計	6	0	14	74	10	10	680	1,562	4,402	6,664	23	531

※栃木県については、8月10日に発生した突風被害によるもの。

# 8月15日からの大雨による被害状況等について

内閣府 HP より

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。【8月21日時点】

## 今後の気象の見通しと発令中の避難勧告等

### 【気象の見通し】

- ・前線が東シナ海から日本海を通過して、東北地方に停滞しており、前線に向かって流れ込む暖かく湿った空気と、上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となっている。
- ・このため、西日本から東北地方にかけて、局地的に雷を伴った非常に激しい雨の降るところがある見込み。
- ・明日22日18時までの24時間に予想される雨の量は多いところで、九州北部地方150ミリ、東北地方100ミリの見込み。

### 【発令中の避難勧告等】

- ・石川県七尾市
- ・徳島県三好市
- ・広島県広島市安佐北区、広島市安佐南区

## 1. 気象状況（気象庁：8月21日16：00時点）

### (1) 気象の概況

- ・15日から17日にかけて、本州付近に前線が停滞し、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、東日本と西日本では広い範囲で大気の状態が非常に不安定となった。
- ・局地的に雷を伴って非常に激しい雨が降り、16日と17日の2日間に降った雨の量が、京都府福知山市や岐阜県高山市等で観測史上1位を更新する等、近畿、北陸、東海地方を中心に大雨となった。
- ・その後も、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでおり、中国地方や九州北部地方を中心に大気の状態が非常に不安定となっている。20日3時30分には、広島県で1時間に約120ミリの猛烈な雨を観測した。

## (2) 大雨等の観測状況

（8月15日0時～8月21日15時）

\* 印は観測史上1位を更新した地点（統計期間10年以上の地点に限っています）

\*\* 印は8月の1位を更新した地点（統計期間10年以上の地点に限っています）

### ・1時間降水量

広島県三入	101.0ミリ	20日	4時00分まで*
長崎県大瀬戸	93.5ミリ	20日	4時59分まで
京都府京都	87.5ミリ	16日	12時46分まで
長崎県平戸	79.5ミリ	15日	10時54分まで
長崎県松浦	70.5ミリ	15日	11時15分まで
広島県都志見	70.0ミリ	20日	1時01分まで
長崎県佐世保	70.0ミリ	20日	4時20分まで
京都府京北	69.5ミリ	16日	18時48分まで**
佐賀県佐賀	68.0ミリ	20日	6時35分まで
滋賀県南小松	66.5ミリ	15日	22時24分まで

### ・24時間降水量

京都府福知山	303.5ミリ	17日	5時50分まで*
高知県魚梁瀬	298.5ミリ	16日	24時00分まで
長崎県佐世保	278.0ミリ	20日	7時30分まで**
兵庫県柏原	259.0ミリ	17日	14時10分まで**
広島県三入	257.0ミリ	20日	16時40分まで*
岐阜県高山	247.5ミリ	18日	2時30分まで**
京都府綾部	230.0ミリ	17日	6時20分まで**
高知県須崎	223.5ミリ	15日	13時40分まで
京都府京北	222.0ミリ	16日	21時40分まで**
高知県大柝	220.5ミリ	16日	21時20分まで

・期間降水量		岐阜県高山	385.5ミリ
高知県繁藤	515.0ミリ	長崎県佐世保	377.0ミリ
高知県魚梁瀬	501.5ミリ	京都府福知山	360.0ミリ
岐阜県関市板取	419.5ミリ	長崎県平戸	354.0ミリ
岐阜県八幡	391.0ミリ	長野県御嶽山	350.5ミリ
高知県大柘	389.0ミリ		

## 2. 人的・物的被害の状況（消防庁調べ：8月21日15：00現在）

&lt; 8月15日からの大雨 &gt;

都道府県名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計	公共建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
石川県	1							1	47	48		
岐阜県							1	20	80	101		
滋賀県									76	76		
京都府	1				1	1	2	192	655	851		
大阪府									11	11		
兵庫県	2		1	2	11	17	16	136	998	1,178		
合計	4	0	1	2	12	18	19	349	1,867	2,265	0	0

# 8月19日から大雨による広島県の被害状況等について

内閣府非常災害対策本部 HP より

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。【8月28日時点】

## 1. 気象情報（気象庁：8月31日16：00現在）

### (1) 気象の概要

前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、中国地方や九州北部地方を中心に大気の状態が非常に不安定となった。20日3時30分には、広島県で1時間に約120ミリの猛烈な雨を観測した。

### (2) 大雨等の観測情報

（8月15日0時～8月31日16時）

#### ・1時間降水量

広島県三入 101.0ミリ 20日 4時00分まで\*

広島県都志見 70.0ミリ 20日 1時01分まで

#### ・24時間降水量

広島県三入 257.0ミリ 20日 16時40分まで\*

\* 印は観測史上1位を更新した地点（統計期間10年以上の地点に限る）

### (3) 今後の気象の見通し

・向こう一週間（9月7日まで）の天気は、湿った空気や気圧の谷の影響で全国的に雲が多く、雨の降る日もある見込み。

・広島県の天気は、今日8月31日は晴れで時々くもり。明日9月1日は、気圧の谷や寒気の影響でくもり、昼前から夕方にかけては雨で、雷を伴う時がある見込み。

## 2. 人的・物的被害の状況（消防庁調べ：8月31日17：00現在）

地区名	人的被害				住家被害						非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計	公共建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
広島市安佐南区	66	2	6	30	17	22	24	24	39	126		
広島市安佐北区	6		2	6	7	19	37	47	150	260		
広島市西区							3	1	1	5		
安芸高田市								4	14	18		
三次市							1			1		
福山市									3	3		
合計	72	2	8	36	24	41	65	76	207	413	0	0

※行方不明者数は、警察、消防及び自治体に対して安否の確認を求められた人数を基に集計したものであり、今後も変動し得る数字である。



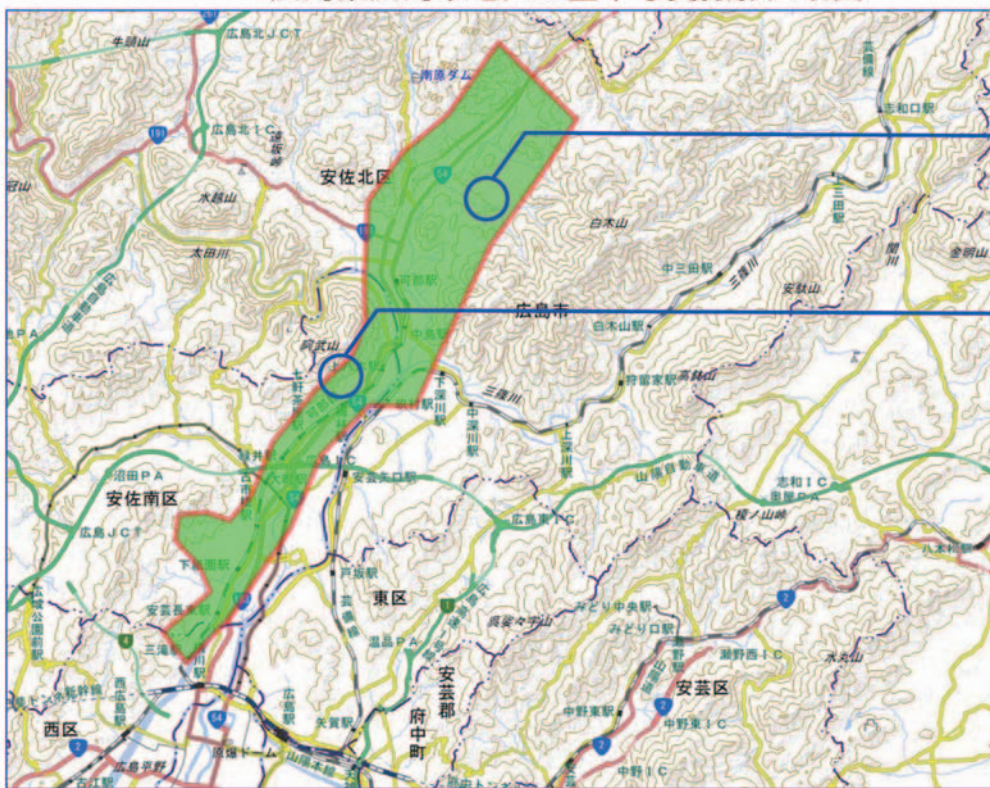
# 平成26年（2014年）8月豪雨による 被害状況に関する情報

国土地理院 HP より

広島県の被災地域について

資料1


広島県広島市地区の空中写真撮影区域図



資料3の画像

資料2の画像

斜め写真を撮影

 平成26年8月20日撮影区域

資料2

斜め空中写真 広島市安佐南区八木付近



資料3

斜め空中写真 広島市安佐北区可部東付近



京都府及び兵庫県の被災地域について

**資料4**

**福知山市街地区及び丹波市市島地区の空中写真撮影区域図**



資料5の画像

京都府福知山市は斜め写真を撮影  
兵庫県丹波市は垂直写真・斜め写真を撮影、正射画像も作成(一部雲がある)

平成26年8月19日撮影区域

**資料5**

**斜め空中写真 丹波市市島町徳尾付近**



# 平成26年度「防災週間」の実施について

内閣府 HP より

## 1. 趣 旨

我が国は、その位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、地滑り、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっている。

昨年は、平成25年4月に震度6弱を観測した淡路島付近を震源とする地震が発生したほか、6月から8月にかけての梅雨期における大雨等や台風第26号等により全国各地で様々な被害が発生した。特に、台風第26号は、東京都大島町における大規模な土砂災害の発生等により、多くの人的、物的被害をもたらした。また、本年も平成26年豪雪による除雪作業中の事故等での多くの人的被害や山梨県や長野県における多くの世帯の孤立等、災害により大きな被害が発生している。

災害からの被害を軽減するためには、東日本大震災を始めとする大規模地震災害やこれまでに発生した雪害・水害・土砂災害等から得られた教訓を的確に活かし、平素より災害時における被害軽減に対する備えを充実強化するとともに、災害時に迅速かつ適切な防災活動を行い、被災後の円滑な復旧・復興を可能としていくことが重要である。

日頃からの具体的な「備え」を実践する取組を更に拡大し、社会全体における防災力を向上させるため、以下のとおり、国、関係公共機関、地方公共団体及びその他関係団体等の緊密な連携の下に、防災に関する各種の行事、広報活動を全国的に実施する。

なお、防災週間の一環として実施する防災訓練に当たっては、「平成26年度総合防災訓練大綱」（平成26年3月28日中央防災会議決定）によるものとする。

## 2. 実施期間

平成26年8月30日(土)から9月5日(金)

## 3. 実施主体

国、関係公共機関、地方公共団体、その他関係団体

## 4. 実施事項

国、地方公共団体等は、災害が発生した場合、災害応急対策から、災害復旧・復興までの一連の対策を迅速かつ円滑に行うための備えを十分に行う必要がある。一方、国民は、平常時より災害に対する備えを心がけ、発災時には自ら身の安全を守るとともに、地域住民及び企業が連携してお互いに助け合うことが非常に重要である。

国、地方公共団体等は、こうした「自助」、「共助」、「公助」それぞれが適切に役割を果たすよう、「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針」及び「平成26年度総合防災訓練大綱」に基づき、行政における十分な準備と訓練を行うとともに、国民に対する防災知識の普及・啓発を図り、災害被害を減らす取組を推進することが必要である。

これらを踏まえて、防災週間においては、地域の実情に応じて、次に掲げるような、防災週間の趣旨にふさわしい内容の行事等を実施するものとし、国は、関係公共機関、地方公共団体及びその他関係団体等に対して協力を要請するものとする。

### (1) 実施する行事等

「防災週間」を中心とする期間内に実施する行事等は次のものとする。

- ① 実施主体は連携を強化し、より実践的な防災訓練等を行うものとする。特に南海トラフ沿いで発生する大規模地震や首都直下地震等の大災害を想定した地域においては、広域的ネットワークを活用した訓練や地方公共団体間の緊密な連携の下に地方公共団体相互で締結されている協定等に基づく広域的応援訓練の実施に努めるものとする。
- ② 防災に関し、災害時の防災活動の実施、防災思

想の普及又は防災体制の整備の面で貢献した団体や個人（ボランティアや企業等も含む。）への表彰を行う。

③ 実践的な防災行動の促進のため、次のような行事等を実施する。

- a 防災に関するイベントの開催
- b 映画・ビデオ上映会、被災や災害対応の体験談を語る会、防災センター等における災害擬似体験、キャンプ等による避難生活体験、防災体験ツアー、防災マップづくり体験、非常食の調理体験、その他の教育啓発活動
- c テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、広報誌、インターネット、携帯端末、コミュニティ放送、ポスター、屋外看板、懸垂幕等多様な手段の活用による広報活動
- d パンフレット、リーフレット、災害の危険箇所や指定緊急避難場所・指定避難所等について明らかにした防災マップ等の配布
- e 標語、図画等の募集

④ 行事等の実施に当たっては、災害への備えに関する次の事項について普及・啓発を行う。

- a 様々な災害（大規模地震災害、雪害、水害、土砂災害等）発生時における、様々な状況下（家屋内、路上歩行時、自動車運転中等）においてとるべき行動
- b 警報・注意報、東海地震に関連する情報等の発表時にとるべき行動の確認及び防災マップ等による指定緊急避難場所・指定避難所の位置や経路等の把握
- c 家族内及び事業所内における安否確認の連絡方法の確認及び指定緊急避難場所等でのとるべき行動
- d 非常用持出品（救急箱、懐中電灯、ラジオ、乾電池等）の準備
- e 最低でも 3 日、出来れば一週間分程度の食料、飲料水等の備蓄
- f ライフラインの途絶に備えた対応の確認（電気、ガス、上下水道、通信等）
- g 家庭動物との同行避難や指定避難所等での飼養等についての日頃からの準備
- h 家具・家電製品等の転倒・収納物の落下に対する防止対策の重要性
- i 建物の耐震診断及び補強の実施並びに耐震診断に対する地方公共団体等の助成制度、耐震化された公共建築物のリストの公表等公共建築物

の耐震性に関する情報、被災建築物応急危険度判定活動等

- j 感震ブレーカー等の設置による出火の予防
- k 地震保険加入の促進
- l 緊急地震速報を広く一般の利用に供するため、緊急地震速報の特性と限界の周知、及び受信時に利用者がとるべき行動等
- m 自主防災組織や次の事業所等における防災のための施設、設備及び資機材の点検
  - 危険物を有する石油コンビナート等の事業所
  - 電気、ガス、上下水道、通信等のライフライン関係及び廃棄物処理関係事業所
  - ターミナル駅、高層ビル、地下街、ホテル、百貨店、劇場、遊園地等不特定多数の者が出入りする施設や事業所
  - 病院、社会福祉施設等の施設
- n 自主防災活動の実施・参加及び消防団活動への参加・協力並びに地域住民と事業所従業員等と連携した防災訓練の実施
- o 地区防災計画の作成
- p 企業における、災害時に備えた中枢機能・情報システムのバックアップ、ライフライン系統の多重化、要員の確保等、事業継続計画（BCP）の策定及び事業継続マネジメント（BCM）の構築
- q コンピュータ、情報通信ネットワークシステム等の保守点検及び機能停止に備えた代替手段の確認
- r 初期消火、顧客の避難誘導、負傷者・要配慮者救助の心構えと準備

(2) 行事等実施に当たっての留意事項

- ① 地域における災害事例、防災体制、防災意識及び防災活動等の実情を踏まえ、かつ、東日本大震災を始めとする大規模地震災害や近年の雪害・水害・土砂災害等の経験と教訓を活かした効果的な行事等となるよう努めること。
- ② 若年層や要配慮者を含めた幅広い層の住民の防災意識や災害時の行動力の向上に資するため、新技術の積極的な活用や体験性・ゲーム性を加味した種々の行事を組み合わせ、多くの住民が興味や関心をもって参加・体験でき、身近な防災活動に活かせることができるような実践的な内容となるよう努めること。
- ③ 防災に係る既存の各種訓練や運動等の関係行事

と有機的関連を保持しつつ、相互の効率を上げるよう努めること。

その一環として、自衛隊、海上保安庁等国の機関と地方公共団体及びその他関係団体等との連携や情報連絡の緊密化等が、地域の実情に応じて更に円滑に行われるよう配慮すること。

- ④ 高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者に十分配慮し、地域において要配慮者を支援する体制が整備されるよう努めること。

また、社会福祉施設、医療施設等に対する的確な情報提供や地域と一体となった警戒避難体制の確立等への取組が更に推進されるよう努めること。

- ⑤ 自主防災組織やボランティア、企業等民間の活動との協調に配慮すること。

・災害時における企業の果たす役割（顧客・従業員の安全、二次災害の防止、経済活動の維持、

地域社会への貢献）の大きさにかんがみ、各企業がその役割を十分に認識して更に防災活動を推進するよう、企業の防災意識の高揚等に努めるとともに、行事の実施に当たっては、積極的な企業の参加を得るようにすること。

・建築、法律、救助、労働安全衛生等の専門分野についての深い知識や技能を持ったNPO、ボランティア等と連携を図るようにすること。

・一般の国民が、復旧・復興や災害予防等の幅広い局面において、ボランティア活動に参加する際の情報提供等の環境整備を行うこと。

- ⑥ 参加者の防災意識の向上等が一過性のものにならないよう、11月5日の「津波防災の日」や1月17日の「防災とボランティアの日」等の防災に関する記念日の普及・啓発を行う等、防災週間終了後においても防災意識が定着するような内容となるよう努めること。

## 新刊ご案内

平成26年5月発刊

実務上手放せない本書をぜひお手元に一冊！

## 災害復旧実務講義集（平成26年度版）

A4判 440頁余 頒価4,400円（消費税込み） 送料協会負担

### 内容案内

- ・最近の自然災害と防災・減災の取り組みについて
- ・災害採択の基本原則について
- ・災害査定の留意点について
- ・災害事務の取扱いについて
  - I 災害復旧制度の概要
  - II 災害報告
  - III 災害事務の管理
  - IV 国庫負担率の算定事務
  - V 災害復旧事業の予算
  - VI 改良復旧事業等に対する補助制度
  - VII 災害復旧事業費の精算と成功認定
- ・「美しい山河を守る災害復旧基本方針」改訂とそのポイント
- ・災害復旧事業の技術上の実務について
  - 設計積算と工事実施——
- ・改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について
- ・下水道における災害査定について
- ・山口県 二級河川田万川水系田万川災害復旧助成事業

詳細については、公益社団法人 全国防災協会ホームページの出版図書案内をご参照下さい。

《各県コーナー》

# 千葉県における近年の災害状況について

.....千葉県県土整備部河川環境課防災対策室

## 1. はじめに

### (1) 千葉県の概要

千葉県は、本州の中央東端に位置し、太平洋に注ぐ利根川と東京湾に注ぐ江戸川によって区切られ、西側は東京湾が広がり、東側は太平洋に面し、四方を川と海に囲まれています。

地形は、南から北に向かって低くなっており、県南部の標高200～300メートル級の下総台地と利根川流域と九十九里沿岸に広がる平野に大別されます。

また、本県は、首都圏に位置しながら、緑豊かな丘陵や変化に富んだ海岸など、豊かで多様な自然環境に恵まれるとともに、様々な動植物が生息・生育しています。

その一方で、県内には、成田国際空港、幕張新都心、つくばエクスプレス沿線等の拠点地域の形成が進展しています。

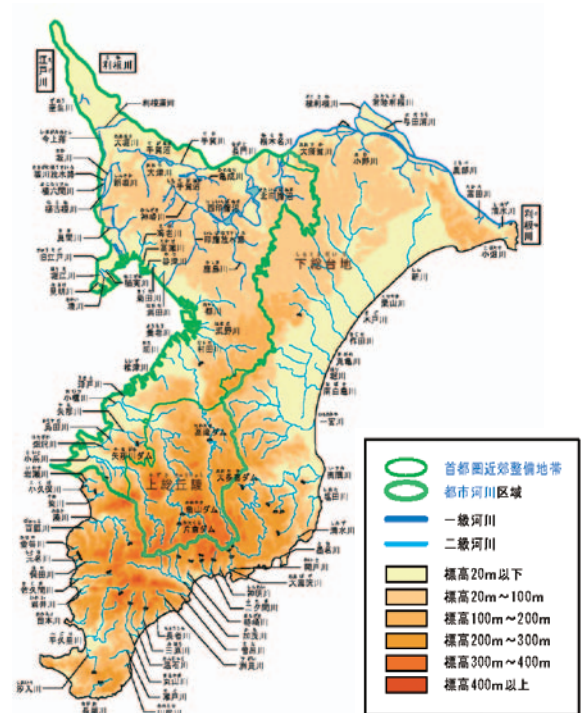


図-2 千葉県の管理河川

### (2) 千葉県の河川

県内の河川としては、一級河川89河川（4沼含む）、二級河川137河川、準用河川138河川があり、指定延長（左岸+右岸、沼は周囲）が3,664キロ

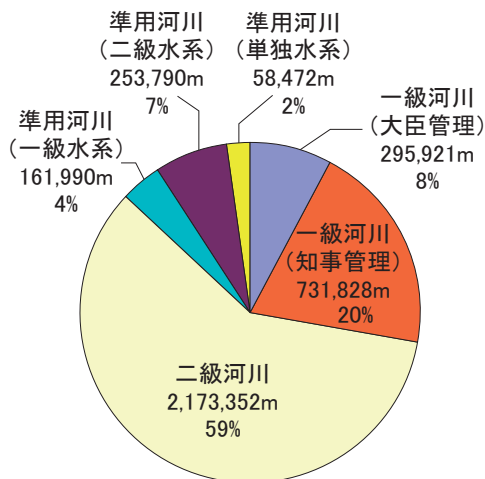


図-1

メートルとなっています（図-1、2）。

また、県内の河川は、一級河川及び二級河川の約8割が流路延長10キロメートル以下で、約9割が流域面積100平方キロメートル以下と中小河川が多く、洪水到達時間が短いため、局所的な集中豪雨により水位が上昇しやすいという特徴があります。

そのため、急激な水位上昇に対する、河川管理施設の的確な操作、水位情報の発信や避難活動など、防災時の対応に努めているところです。

県内の河川整備は、昭和45年7月、昭和46年9月の2度の大水害を契機として、多くの河川で本格的な改修に着手しました。

現在は、時間雨量50ミリメートルに対応する河川の整備に努めているところですが、整備率は、60パーセント以下の状況です。

《各県コーナー》

また、都市化や農地整備の進展に伴う流出量の増大に対しては、河川の整備のみで対応することには限界があることから、都市開発を行う際は、調節池、雨水貯留・浸透施設等の流出抑制対策を、また、圃場整備を行う際は、水田貯留等の流出抑制対策などについて、地域住民や関係する行政機関の協力を得ているところです。

2. 千葉県の主な災害

(1) 水 害

本県における昭和30年代以降の主な水害は、表-1のとおりです。

(2) 地 震

本県における主な地震は、表-2のとおりです。

○東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）

千葉県内においては、印西市・成田市で震度6弱を観測したほか、18市町で震度5強を、25市町で震度5弱を観測しました（図-3）。

県内の被害状況の特徴としては、津波被害と液状化被害が挙げられます。

津波については、観測地点の銚子において最大波2.5メートルを観測し、陸域の痕跡高さとしては、旭市飯岡において7.6メートルを観測しました。

液状化については、浦安市など東京湾岸の埋め立て地や、香取市・我孫子市等の利根川旧河川の埋め立て地において発生しています。

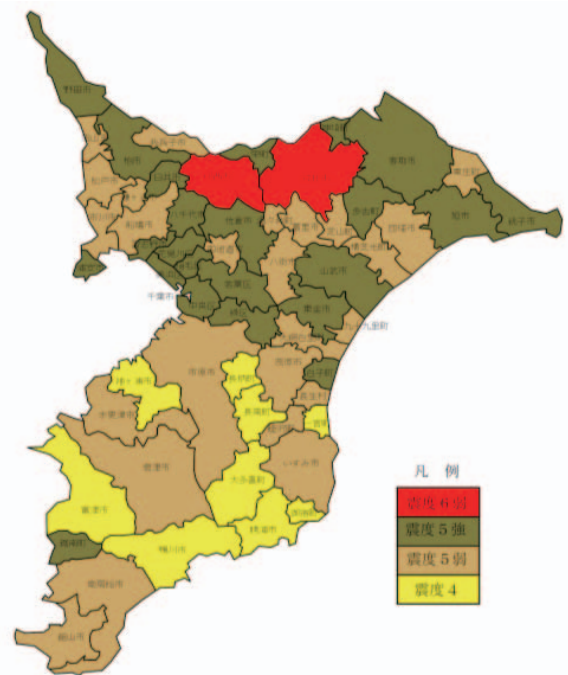


図-3 千葉県の震度分布図

県内の被害は、人的被害として死者・行方不明者22名、負傷者253名、建物被害として全壊801棟、半壊10,086棟、一部破損52,819棟が発生するなど、甚大な被害を受けています。

また、河川、海岸、道路、港湾、下水道等の被災箇所については、公共土木施設災害復旧事業として県施工分が193箇所で110億2,300万円、市町村施工分（千葉市を除く）が343箇所で226億3,500万円の査定決定を受けました。

表-1

年 月 日	災 害 名	浸 水 数			降 雨 記 録			
		床下(棟)	床上(棟)	計	観測所	時間最大	日雨量	総雨量
S33.9.25~26	狩野川台風	14,010	4,432	18,422	松戸	60	283	332
S45.7.1	関東地方南部の大雨	3,657	2,756	6,413	大多喜	116	326	340
S46.9.6~7	梅雨前線、台風25号	16,109	5,957	22,068	勝浦	122	352	557
S56.10.22~23	台風24号	13,179	7,779	20,958	市川	60	199	203
S61.8.2~10	台風10号、豪雨	4,462	2,601	7,063	君津土木（天羽）	44	272	294
H元.7.31~8.1	台風12号に伴う前線	4,282	1,230	5,512	鹿野山	91	290	533
H5.8.26~27	台風11号	2,448	1,126	3,574	東葛飾土木	57	217	242
H8.9.21~22	台風17号	5,203	2,286	7,489	荒川（富山町）	55	254	372
H16.10.8~11	台風22号、豪雨	922	176	1,098	大原	69	401	422
H25.10.15~16	台風26号	3,036	1,583	4,619	浜金谷	64	420	420



## 《各県コーナー》

表-2

年月日	震央地名	マグニチュード	最大震度	被害
T12.9.1	相模湾	7.9	6	死者1,335名他
T12.9.2	勝浦沖	7.4	6	瓦の落下他
S62.12.17	千葉県東方沖	6.7	5	死者2名他
H元.3.6	千葉県北部	6.0	5	瓦の落下他
H23.3.11	東北地方太平洋沖	9.0	6	死者20名他

※最大震度：県内における最大震度



写真-1 (二)豊田川(茂原市役所前)

## 3. 平成25年10月台風26号による災害

## (1) 降雨状況

10月15日から16日にかけての台風26号は、県内全域で日雨量200ミリから400ミリ、時間最大雨量30ミリから70ミリの降雨が観測され、地域によっては、統計開始以来の極値を記録しました。

## (2) 被害状況

台風26号による人的被害としては、死者1名、重軽傷者21名、また、建物被害としては、全半壊11棟、一部損壊130棟、床上浸水1,309棟、床下浸水2,679棟が発生しました(写真-1)。

## (3) 公共土木施設被害

県及び市町村が管理する公共土木施設については、河川・道路等406箇所被害が発生し、公共土木施設災害復旧事業として36億7,000万円の査定決定を受けました。

## (4) 河川改修の効果

台風26号の雨量は、過去に大きな水害を引き起こした昭和45年7月の関東地方南部の大雨、昭和46年9月の梅雨前線・台風25号、平成元年7月の台風12号、平成8年9月の台風17号、平成16年10月の台風22号の雨量と比較しても、同等かそれ以上の規模となる記録的な降雨でした。

しかしながら、河川の整備が概ね完成した河川では、過去に河川からの溢水により大きな水害を受けた地域において、洪水を安全に流化し地域の水害を防ぐなど、河川改修の効果を確認することができました。

## ○椎津川の改修効果

椎津川は、房総半島のほぼ中央の市原市に位置し、東京湾に流入する、流域面積21.4平方キロメートル、流路延長7.1キロメートル(指定延長4.1キロメートル)の二級河川です。

椎津川流域では、昭和年代の後半から平成年代の前半にかけて水害が多発しており、昭和57年9月、昭和61年8月、平成8年9月等の洪水において、数多くの家屋の浸水被害を受けています(写真-2)。

そのため、椎津川の改修は、昭和45年度より進められており、平成25年度までに上流の一部区間を残し概ね完成したところでした。

今回の台風26号では、河川改修の効果により、上流未改修区間の一部で溢水したものの、下流市街地の家屋の浸水被害はありませんでした。

図-4のグラフは、平成8年9月の台風17号と平成25年10月の台風26号について、雨量と水位を示したものです。

雨の規模としては、平成8年9月の台風17号が、



写真-2 H8.9.22(主)千葉鴨川線 浸水状況

《各県コーナー》

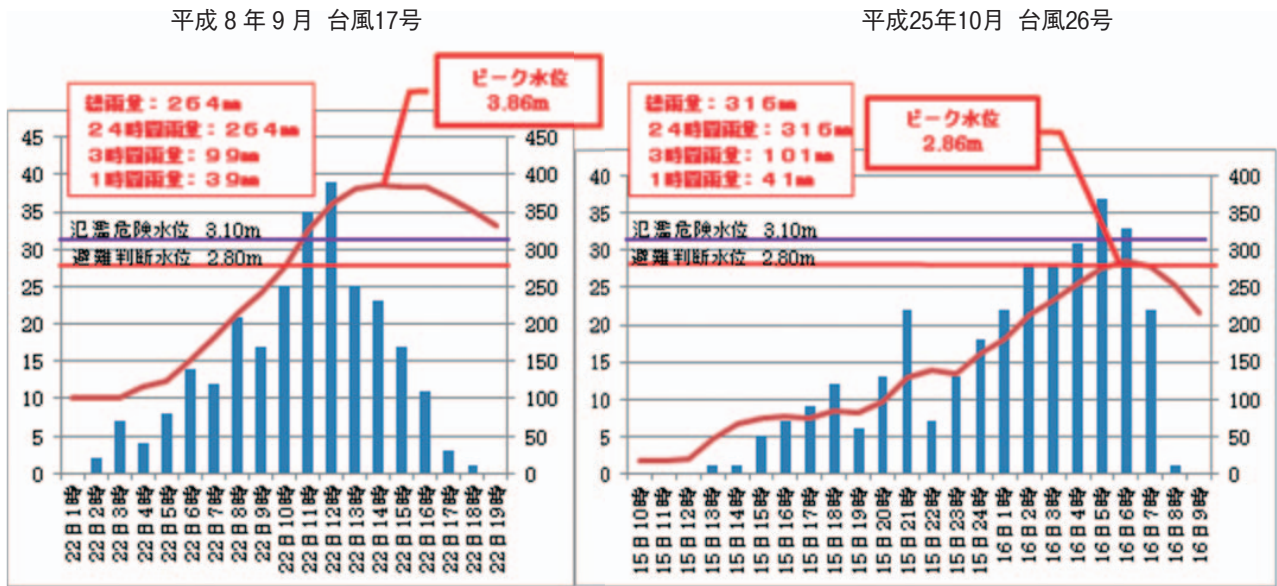


図-4 二級河川椎津川における改修効果（平成8年9月 台風17号と平成25年10月 台風26号の比較）

3時間雨量99ミリ、1時間最大雨量39ミリ、平成25年10月の台風26号が、3時間雨量101ミリ、1時間最大雨量41ミリとほぼ同じ規模の雨量となっています。

水位については、平成8年9月の台風17号では、ピーク水位が氾濫危険水位3.10メートルを大きく超過し、3.86メートルまで水位が上昇しましたが、平成25年の台風26号では、ピーク水位が避難判断水位2.80メートルは超過したものの、氾濫危険水位以下の2.86メートルと平成8年9月の台風17号の時と比べて、水位が1メートル低下し、洪水被害を防ぐことができました。

庁ホームページにより県民のみなさんにリアルタイムの情報を提供しています（図-5、6）。



図-5

4. 水防体制の充実

(1) 水防テレメーターシステム  
県では、水防監視体制を強化するため、昭和46年度から雨量や水位のデータを集中管理する水防テレメーターシステムを導入し、平成17年9月からは、県



《各県コーナー》

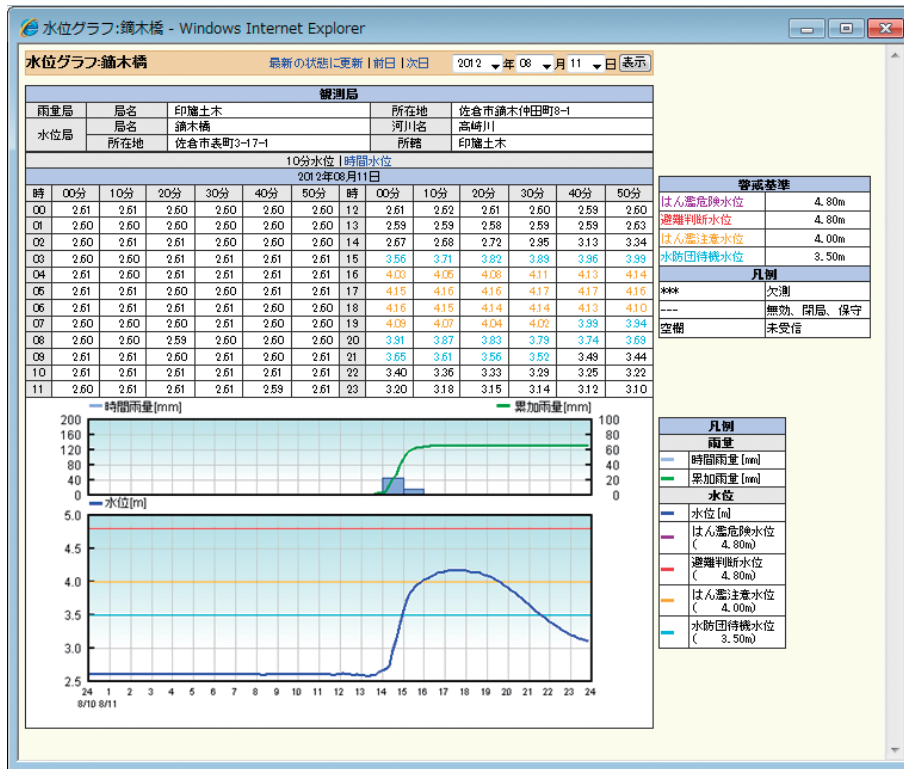


図-6

(2) 市町村への支援

県では、ソフト対策として、市町村による迅速な水防活動や住民避難判断のため、雨量や水位のリアルタイムな情報提供や、市町村が整備する洪水ハザードマップ作成の支援などについて進めているところである。

また、平成26年4月には、災害対策基本法の改正を受け「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（案）」の改定があり、市町村長が行う避難勧告等の円滑な発令に資するため、洪水時におけるより一層の情報提供が求められているところであり、県としても充実を図ることをしています。

5. おわりに

今年の6月6日から8日にかけての梅雨前線豪

雨では、千葉県南部において、24時間雨量で300ミリから200ミリの雨量が記録され、いくつかの雨量観測所では6月の極値が記録されたところである。

近年では、地球温暖化の影響もあってか、局所的な集中豪雨などにより、雨量観測を始めてからの極値となる計画を上回る降雨が度々ある状況である。

県では、治水事業等のハード対策と併せて、災害から人命を守り被害を最小限にとどめるソフト対策についても、市町村等と協力して進めているところである。

最後になりましたが、県及び市町村における災害時の対応や復旧に対し、御支援をいただいております、国土交通省並びに財務省の方々に、改めて御礼を申し上げますとともに、引き続き御指導と御協力をお願い申し上げます。

会員だより

# 「和歌山県の 災害復旧について」



和歌山県県土整備部  
河川・下水道局河川課 防災班  
副主査 大森 健作

## 1. はじめに

### (1) 和歌山県の概要

本県は、本州紀伊半島の南西部に位置し、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊半島を挟んで徳島県と向かい合っています。東西約94km、南北約106kmに及び、総面積は4,726km<sup>2</sup>で、国土の1.25%を占めています。

### (2) 和歌山県の地勢

本県は古くから「紀(木)の国」と云われ、面積の大部分は紀伊山系を中心とする1,000m前後

の山岳地帯で、高野山、那智山など古代から親しまれた山々が多くあります。河川のほとんどは、これらの諸山脈に源を発し、流域をうるおして紀伊水道及び熊野灘に注いでいます。また、比較的傾斜の急な山が多く、河川においても急勾配で洪水や土砂災害が起こりやすい地形です。海岸線は総延長約650kmに及ぶリアス式海岸で、とりわけ潮岬を中心とした県南部の海岸は、黒潮に洗われ景勝に富んでいます。

気候は、北部は日照時間が長く降水量が少ない瀬戸内気候区で、南部は黒潮の影響を受けて温暖な南海気候区に属し、日本有数の多雨地帯です。

## 2. 自己紹介

私は、平成23年度から県南部にある西牟婁建設部に配属となり、主に河川、砂防事業に係る業務を担当することになりました。23年度と言えば、近畿地方に甚大な被害をもたらした「紀伊半島大水害」の発生した年度であり、私も災害復旧担当として、災害査定から復旧工事の発注、また復旧工事の監督を担当させていただきました。激甚法の指定を受けた災害であり、被災個所が多く、業務量が膨大で大変でしたが、災害復旧事業に関して非常に貴重な経験を積むことができたと感じています。今年の4月からは本庁の河川課防災班に配属となり、県の災害復旧のとりまとめ業務に携わっています。査定時に査定官や立会官から和歌山県としての見解を聞かれる立場となり、自分の未熟さを思い知るとともに、奥の深い災害復旧事業について、日々勉強をさせていただいています。



会 員 だ よ り

3. 和歌山県の近年の災害

(1) 台風12号（平成23年）

台風が大型で動きが遅かったため、台風周辺の湿った空気が長時間にわたって流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。本県では、8月30日17時から9月5日6時までの総降水量が広い範囲で1,000mmを超え、田辺市下川上地内の大杉観測所では1,998mmとなり、記録的な大雨となりました。また、人的被害については、死者56名、行方不明者5名に上りました。

県管理施設の被災箇所は、1,181箇所、査定決定額36,855百万円に上る甚大な災害となりましたが、災害から約3年が経過し、公共土木施設被災箇所の98.8%の復旧が完了しました。



写真－1 23年災 県道田辺龍神線の被災状況  
(延長約100mに渡って崩落し全面通行止となった)



写真－2 23年災 那智川のはん濫後の状況  
(土石流により河道閉塞が発生し甚大な被害となった)

(2) 台風18号（平成25年）

台風周辺の雨雲や湿った空気が次々と流れ込み、山地を中心に大雨となりました。本県では、9月14日21時から16日11時までの総降水量は、新宮市高田地内の高田観測所で624mmを記録しました。

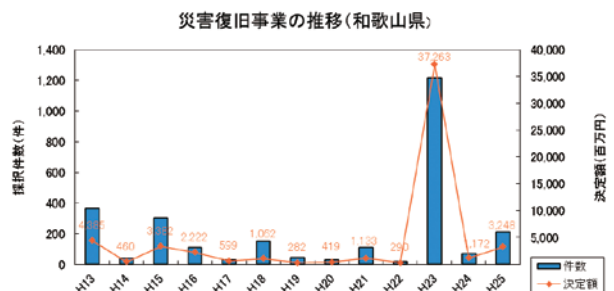
県管理施設の被災箇所は、213箇所、査定決定額3,248百万円に上りました。現在も被災箇所の一日も早い復旧に向け全力で取り組んでいるところです。



写真－3 25年災 国道370号の被災状況  
(法面崩壊により土砂が道路を塞いだ)



写真－4 25年災 市道広井原三又線の被災状況  
(護岸浸食により道路が崩壊した)



## 会員だより

### 4. 和歌山県について

ここで、和歌山県のPRをちょっとだけさせていただきます。

本県には平成16年に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」があります。「紀伊山地の霊場と参詣道」は、三重、奈良、和歌山の三県にまたがる「山岳霊場（吉野・大峯、熊野三山、高野山）」と「参詣道（熊野参詣道、大峯奥駈道、高野山町石道）」、及び周囲を取り巻く「文化的景観」が主役であり、世界でも類を見ない資産として価値の高いものです。その中でも、本県には、ミシュラングリーンガイドで三つ星（★★★）箇所として紹介されている高野山、熊野古道、那智の滝、大門坂等の見どころが沢山あります。三つ星は、「わざわざ旅行する価値がある」箇所とされており、紀伊山地のすばらしい景観をご覧くださいと思います。

今年是世界遺産登録10周年となっており、記念イベント等も予定されていますので、是非和歌山県へ「わざわざ旅行」していただきたいと思います。

また、平成27年に、わが国最大かつ最高のスポーツの祭典である国民体育大会が、本県で開催されます。

国体は、半世紀に一度のビッグ・スポーツイベントであり、本県においては、昭和46年の第26回



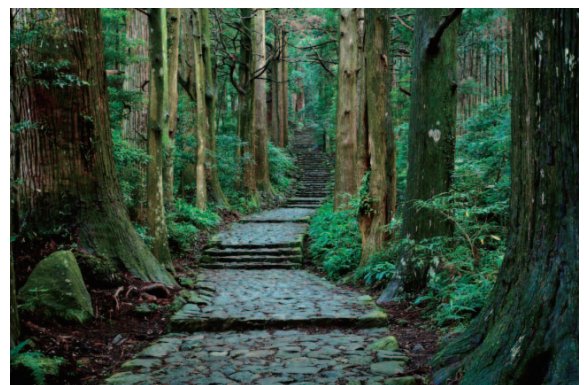
写真－5 高野山  
嶽弁天からの根本大塔



写真－6 那智の滝  
日本三名瀑のひとつで、滝の落差133mは日本一



写真－7 熊野古道  
神仏習合の聖地「熊野三山」を巡礼するために開かれた参詣道



写真－8 大門坂  
熊野那智大社へ約640mの石畳の階段が続く

写真－5、6、7、8 提供：(公社)和歌山県観光連盟

## 会員だより

の黒潮国体以来、44年ぶりの開催となります。国体の開催を起爆剤として、和歌山県の文化の振興など県勢発展に大きな遺産となるよう、さらには自信と誇りに満ちた「元気な和歌山」の実現に繋がるよう、総力をあげて取り組んでいるところで

## 5. さいごに

近年、大規模災害等が多く発生し、災害復旧事業の果たす役割が益々大きくなってきています。本県でも平成23年、平成25年と大きな災害を経験

し、一日も早い復旧、復興に向け、全力で取り組んでいるところです。今後も、被災箇所の早期復旧、また災害に強い県土づくりを進め、県民の安全・安心を図っていけるよう努力していく所存です。

さいごに、本県で発生した災害に関し、災害査定や事業を進めるうえで、ご指導、ご協力いただきました国土交通省や財務省の方々、また紀伊半島大水害に係る災害復旧において応援をいただきました、関西広域連合、九州地方知事会職員の方々に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。



協会だより

## 平成26年度「水防専門家派遣制度」活用状況と 新規登録者の紹介

平成26年度の「水防専門家派遣制度」活用状況は平成26年8月25日現在で、別紙-2のとおり、23機関から24回、延べ日数で42名の方の派遣要請がありました。(派遣済み・派遣予定含む)

また北海道開発局からご推薦のあった3名(別紙-1)の方が8月15日付けにて新規に水防専門家と

して名簿に登録されましたのでご紹介します。

今回新たに登録された3名を合わせ、8月15日現在で水防専門家として名簿に登録されている方は、総計137名となります。(詳細については本協会HPに掲載しておりますのでご参照下さい)

### 別紙-1 水防専門家新規登録者名簿

登録者数3名(平成26年8月15日付け)

ブロック	No.	氏名	ふりがな	得意分野	活動希望地域
北海道	1	嶋崎 正美	しまざき まさみ	実地指導・水防工法・低地河川	北海道内
	2	後藤 定輝	ごとう さだてる	実地指導・水防工法・急流河川	北海道内
	3	酒田 清幸	さかた きよゆき	実地指導・水防工法・急流河川	北海道内

### 別紙-2 平成26年度 水防専門家派遣実績 一覧表

(平成26年8月25日現在)

No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名	備考
1	新潟県妙高市	水防講習会	新潟県妙高市	26.5.11	2名	植木 英仁、水澤 清春	派遣済み
2	兵庫県尼崎市	水防技術訓練	兵庫県尼崎市	26.5.13~14	2名	裕永 正光、福井 保	派遣済み
3	鳥取県県土整備部河川課	水防技術講習会	鳥取県米子市古豊千地内 (日野川右岸河川敷)	26.5.17	4名	江角 俊明、永田 瑞穂 福田 州夫、米田 明德	派遣済み
4	埼玉県比企郡川島町	水防訓練	埼玉県川島町鳥羽井新田地先 (市野川右岸)	26.5.17	1名	茂木 弘	派遣済み
5	青森県中南域県民局地域整備部	水防演習	青森県弘前市	26.5.17~18	2名	葛西喜美雄、三浦 恵一	派遣済み
6	中国地方整備局出雲河川事務所	水防演習	鳥根県出雲市武志地先 (斐伊川左岸高水敷)	26.5.24	5名	江角 俊明、大輝 勝 西村 明、土江 秀治 金山 義延	派遣済み
7	東北地方整備局河川部水災害予報センター	東北水防技術競技大会	宮城県名取市 (名取川河川敷)	26.5.25	3名	井上 博泰、浦部 康悦 菅原 信雄	派遣済み



No.	派遣要請機関	派遣目的	派遣場所	派遣要請日	派遣者数	水防専門家名	備 考
8	鳥取県県土整備部河川課	水防訓練	鳥取県米子市古豊千地内 (日野川右岸高水敷)	26.5.25	2名	福田 州夫、江角 俊明	派遣済み
9	長野県建設部河川課	水防訓練	長野県大町市	26.5.25	1名	武居 英文	派遣済み
10	秋田県消防協会湯沢市雄勝郡支部	水防訓練	秋田県湯沢市	26.5.25	1名	高橋 富男	派遣済み
11	秋田県秋田市	水防訓練	秋田県秋田市 (雄物川右岸河川敷)	26.6.1	2名	浦部 康悦、高橋 富男	派遣済み
12	手取川・梯川・石川海岸水防連絡会(金沢河川国道事務所)	水防工法技術研究会	石川県能美群川北町 (取手川右岸)	26.6.3	4名	本田 武、井上 明 中田 進、野沢 寛	派遣済み
13	滋賀県土木交通部流域政策局	水防研修会	滋賀県守山市今浜町	26.6.5	1名	裕永 正光	派遣済み
14	加須市・羽生市水防事務組合	水防訓練	埼玉県加須市新川通地先 (新川通河川防災ステーション)	26.6.7	1名	茂木 弘	派遣済み
15	島根県邑智郡邑南町	水防訓練	島根県邑智郡邑南町	26.6.8	1名	江角 俊明	派遣済み
16	北海道開発局帯広開発建設部	水防演習	北海道中川郡池田町	26.6.13~14	1名	葛西 正喜	派遣済み
17	青森県東青地域県民局地域整備部	水防工法訓練	青森県青森市大字幸畑 (横内川多目的遊水地内)	26.6.25	2名	葛西喜美雄、三浦 恵一	派遣済み
18	北海道開発局札幌開発建設部	防災訓練	北海道三笠市	26.7.6 26.8.24	1名	葛西 正喜	派遣済み
19	埼玉県北本県土整備事務所	水防工法講習会	埼玉県北本市	26.7.17	1名	茂木 弘	派遣済み
20	北海道開発局札幌開発建設部滝川河川事務所	水防工法講習会	北海道樺戸郡新十津川町	26.7.24	1名	葛西 正喜	派遣済み
21	北海道開発局留萌開発建設部	水防技術講習会	北海道留萌市	26.7.30	1名	佐藤 明正	派遣済み
22	埼玉県行田市建設部	水防演習	埼玉県行田市	26.8.2	1名	茂木 弘	派遣済み
23	岩手県県北広域振興局土木部	水防訓練	岩手県久慈市	26.8.31	1名	井上 博泰	派遣予定

派遣要請回数：24回

延べ派遣(予定)者日数：42名

## 水防専門家派遣活動写真



秋田市



秋田市



滋賀県流域政策局



滋賀県流域政策局



札幌開発建設部



札幌開発建設部

# 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」

【A B表入力システム支援ワークシート（CD）付】

A4版カラー 220頁余 頒価7,400円（消費税込み） 発送料協会負担

## 【概 要】

本書は、平成26年3月に多自然川づくりを徹底するために改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」を収めるとともに、河川災害復旧事業において必要な「災害復旧箇所河川特性整理表（A表）」等作成するための「入力システム支援ワークシート」【A B C表等の自動リンク張り】が巻末にCDで添付されています。

本書に添付されている支援ワークシート（CD）をご活用いただき、多自然川づくりに配慮した最適な復旧工法を選定し、本来河川が有している環境や景観の保全に努めて頂ければ幸いです。

## 本書の内容

1. 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」（平成26年3月改定版）
  1. はじめに
  2. 河川における災害復旧の基本的な考え方
    - 2.1 基本的な考え方
    - 2.2 河川における災害復旧のポイント
    - 2.3 復旧工法検討の流れ
  3. 現地調査と河川特性及び被災原因の把握
    - 3.1 河川特性の把握
    - 3.2 被災原因の分析
    - 3.3 河川環境の把握
    - 3.4 周辺環境の確認と重点箇所の判定
    - 3.5 災害復旧箇所河川特性整理表（A表）の作成
  4. 護岸工法
    - 4.1 護岸工法の考え方
    - 4.2 設計流速算定表（B表）の作成
    - 4.3 法覆工
    - 4.4 基礎工
    - 4.5 根固工
    - 4.6 根継工
    - 4.7 天端工・天端保護工、小口止め、水抜きパイプ等の付帯工
    - 4.8 覆土・寄せ石
    - 4.9 申請工法概要の記入とチェックリストの活用
  5. 水制
  6. 床止め
  7. 施工及びフォローアップ
    - 7.1 施工時の留意点
    - 7.2 施工時に期待される工夫
    - 7.3 フォローアップ（施工後のチェック、モニタリング）
2. 巻末資料「設計流速に関する参考資料」
3. A B表入力システム支援ワークシート記入の留意事項
4. 添付CD（A B表入力システム支援ワークシート）
  - ① 単断面直線部ワークシート
  - ② 単断面曲線部ワークシート
  - ③ 複断面直線部ワークシート
  - ④ 複断面曲線部ワークシート

平成26年 発生主要異常気象別被害報告

平成26年8月15日現在 (単位：千円)

	冬期風浪及び風浪		豪雨		地すべり		融雪		地震		梅雨前線豪雨		台風		その他		合計		
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	
北海道			2	50,000			1	85,000					165	1,922,700			168	2,057,700	
青森													125	1,799,000			125	1,799,000	
岩手			1	35,654	1	110,000					2	20,000	2	35,000	2	90,000	8	290,654	
宮城			5	34,600									21	286,960	7	82,000	33	403,560	
秋田					2	80,000							47	636,000			49	716,000	
山形					4	1,720,000							(1)	(460,000)			(1)	(460,000)	
福島			(1)	(8,000)									237	6,040,309			241	7,760,309	
茨城	<5>	<150,000>	9	628,000									51	988,000			60	1,616,000	
栃木	5	150,000	2	36,000													<5>	<150,000>	
群馬											15	461,800					15	461,800	
埼玉			1	150,000							1	50,000			(2)	(1,628,626)	(2)	(1,628,626)	
千葉			7	55,000							55	873,500			3	1,643,626	5	1,843,626	
東京																			
神奈川											1	30,000					1	30,000	
新潟					1	100,000					1	20,000	78	1,150,000	(2)	(76,500)	(2)	(76,500)	
富山			37	406,600			1	20,000			3	28,000					41	454,600	
石川			18	266,000						4	40,500		17	79,500			39	386,000	
福井			5	295,000	1	30,000							20	285,500			26	610,500	
山梨							1	150,000					1	15,000			2	165,000	
長野			3	41,700			2	250,000			5	46,000	17	3,560,500			27	3,898,200	
岐阜			9	105,000							1	4,400	70	662,822			80	772,222	
静岡			1	9,900	1	1,620,000											2	1,629,900	
愛知																	3	48,000	
三重			2	15,000							4	125,000	125	1,358,610			131	1,498,610	
滋賀													7	180,000			7	180,000	
京都					3	305,000											3	305,000	
大阪											1	5,000	(3)	(93,000)			(3)	(93,000)	
兵庫													21	260,300			22	260,300	
奈良													<1>	<250,000>			<1>	<250,000>	
和歌山													(7)	(229,000)			(7)	(229,000)	
鳥取													274	3,400,300			274	3,400,300	
島根													115	1,840,440			115	1,840,440	
岡山			11	109,800	1	3,380,000					1	25,000	5	72,000			18	3,586,800	
広島																			
山口	1	155,000			5	261,000					2	8,500	16	109,000			16	109,000	
徳島					1	92,705							2	37,000			10	461,500	
香川			3	27,400					1	28,000			5	9,000			6	101,705	
愛媛													374	1,706,894			378	1,762,294	
高知													(3)	(70,000)			(3)	(70,000)	
福岡													192	1,781,200			213	1,980,900	
佐賀													(3)	(113,000)			(3)	(113,000)	
長崎													295	2,846,115			295	2,846,115	
熊本													<2>	<9,000>			<2>	<9,000>	
大分													31	197,600			31	197,600	
宮崎																			
鹿児島																			
沖縄			1	13,000							1	4,500	7	18,600			9	33,100	
札幌																			
仙台																			
さいたま																			
千葉																			
横浜																			
川崎																			
横浜																			
相模原																			
新潟			2	13,000															
静岡			3	72,100															
岡																			
松																			
名古屋																			
京都																			
大阪																			
堺																			
神戸																			
岡山			1	100,000									7	298,000			7	298,000	
広島																	1	100,000	
北九州																			
福岡																			
熊本																			
補助計	<5>	<150,000>	(1)	(8,000)			5	505,000					<25>	<1,478,000>	(4)	(1,705,126)	<30>	<1,628,000>	
直轄計	6	305,000	132	2,639,554	20	7,698,705			2	38,000	637	6,749,491	(22)	(1,013,000)			(27)	(2,726,126)	
合計	7	335,000	132	2,639,554	20	7,698,705	5	505,000	2	38,000	637	6,749,491	7	954,000	14	1,892,126	4,469	66,095,580	
直轄計																		8	984,000
合計																		4,477	67,079,580

※上段( )内書きは、下水道・公園分、<>内書きは港湾・港湾に係る海岸分である。